

妊産婦健診について

(2014年愛知自治体キャラバンまとめ)

市町村名		妊産婦健診は、産前14回に加え、初回及び産後1回を無料で受けられる恒久的な制度にしてください。
0	愛知県	<p>妊婦健康診査につきましては、現在、県内すべての市町村において全14回分が公費負担により実施されているところであり、その財源については、市町村に対し地方交付税措置がなされております。</p> <p>この公費負担は、妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産ができる体制を確保することを目的として行っているものでありますので、妊娠を確認するための診察や、産後の健康診査につきましては自己負担により対応していただいているところであり、御理解くださいますようお願いいたします。</p>
1	名古屋市	<p>本市では、妊婦の経済的負担の軽減を図るため、委託した医療機関において、公費負担で健康診査が受けられる妊婦健康診査を実施しています。</p> <p>国は、妊婦健康診査の望ましい受診回数について14回程度としており、本市においては、平成21年4月から公費負担の回数を5回から14回に拡充しております。</p> <p>また、産後健診の公費負担につきましては、多額の経費を要することもあり、今後、国の動向や本市の財政状況などを見極めながら、その必要性について慎重に検討していきたいと考えております。</p>
2	豊橋市	<p>妊娠届出以後の妊婦健診につきましては14回まで公費負担の対象としておりますが、厳しい財政状況の中、この公費負担をできるだけ継続することが重要であると考えております。妊娠の判定をする初回健診及び産後の健診につきましては、現在のところ公費負担をすることは考えておりません。</p>
3	岡崎市	<p>妊娠の確定については自己負担ですが、妊婦健康診査の初回から14回分の健診は公費負担としています。産後健診の公費助成につきましては、妊婦健康診査とは別事業となるため、実施は考えていません。妊婦健康診査の恒久的な制度として、平成25年度から普通交付税措置となりました。</p>
4	一宮市	<p>妊婦健診については、妊娠届出以降14回の公費負担を行っています。</p> <p>産婦健診については、生活保護や市民税非課税世帯の方へ助成制度を設けています。</p>
5	瀬戸市	<p>平成21年度から妊婦健診の助成回数を14回に拡大しております。今後の助成拡大につきましては、検討を続けてまいります。</p>
6	半田市	<p>妊婦健診については、初回を含め妊婦健診を公費負担で14回、産婦健診についても1回分を公費負担しています。</p> <p>恒久的な制度化につきましては、今後国の動向を踏まえ判断していきたいと考えています。</p>
7	春日井市	<p>平成23年度に、子宮頸がん検査やクラミジア検査、HTLV-1検査等が追加されて妊娠期に必要な健診項目を充実させながら出産までの健康管理を図っているところです。</p> <p>産後健診の助成については、今後の動向を見守っていきます。</p>
8	豊川市	<p>妊産婦の健康診査については、産前健診14回分を公費負担としています。産後健診の公費負担は行っておりません。今後については、国の動向や近隣市町の状況を参考にしながら検討をしていきます。</p>
9	津島市	<p>妊産婦の無料健診につきましては、国の指針に基づき、14回の助成を行っております。国の指針、また、県、各市の状況等の動向を見守りたいと考えております。</p>
10	碧南市	<p>国が示す検査項目について公費で受診できるよう、妊婦健康診査14回分及び産婦健康診査1回分を補助券として受診票を交付しています。</p>
11	刈谷市	<p>妊産婦健診の受診券は、母子健康手帳と一緒に交付していますので、初回健診には使用できません。現在、妊娠中に14回(子宮頸がん検査含む)、産後1回の受診券を交付しており、県内の医療機関で受診できるよう、県下統一した内容となっています。適正な時期に必要な検査ができるようになっておりますが、無料券ではなく、県で統一した内容の補助券となっています。</p>

市町村名		妊産婦健診は、産前14回に加え、初回及び産後1回を無料で受けられる恒久的な制度にしてください。
12	豊田市	※文書回答なし
13	安城市	産前14回、産後1回の健診は健診指定項目について無料で受けられるようになっていきます。 現在県医師会に委託し、広域化での健診を実施しています。 国の示す標準的な検査項目に基づき実施しています。
14	西尾市	妊産婦健康診査は、愛知県における標準的な健康診査内容により、妊婦健診14回及び産婦健診1回を公費負担しており、初回については愛知県下の動向により検討してまいります。
15	蒲郡市	現在、産前14回分の健診については、無料です。ただし、妊娠オウムを確認する初回健診については国が示す基本的又は標準的な妊婦健康診査の項目に含まれていないため、本市の健診内容に含める予定はありません。また、産後1回の健診についても同様に、現在のところ無料にする考えはありません。
16	犬山市	産後健診については、国等の動向を注視しながら検討していきます。
17	常滑市	国、他市町村の動向に合わせ今後実施について検討します。
18	江南市	妊産婦健診は、産前14回、産後1回を公費助成しています。 助成は、母子健康手帳交付日以降の健診分を対象としています。
19	小牧市	妊婦の無料健診制度については、平成21年1月27日以降、国の示した健診内容で、14回を実施しております。なお、産後健診については、現在のところ実施する考えはありません。
20	稲沢市	妊婦健診については、愛知県内の市町村が足並みそろえて、14回の健診を実施しております。産後健診については、現状でお願いしたい。
21	新城市	妊婦健診は、愛知県市長会の調整のもと、初回の健診を含め14回の受診券を交付し、補助しております。産後の健診は、補助しておりません。
22	東海市	本市では、平成21年度から産前14回について補助を行っております。産後1階の補助については平成19年度から実施しています。 公費負担となる健診項目については、県下統一の仕組みで実施しており、妊娠届出前の初回については把握と実施が不可能でございます。
23	大府市	本市では、妊婦健康診査14階、産婦健康診査
24	知多市	妊産婦健診は、現在、子宮頸がん検診、HTLV-1・クラミジア検査、産前14回及び産後1回の健診に対して助成を行っております。なお、平成25年度から、国による産前14回分の交付税措置となりました。
25	知立市	国の施策に従って必要とされる妊婦健診事業を行っていきます。
26	尾張旭市	平成24年度で産前の健診の県の助成はなくなりましたが、今年度も継続して実施してまいります。産後の健診については、厳しい財政状況では実施が難しい状況です。
27	高浜市	現状の妊婦健診が継続できるよう努めてまいります。
28	岩倉市	平成21年2月から妊婦健康診査の公費負担回数を14回に増やし、現在も妊婦健康診査は、14回無料で受けていただけます。
29	豊明市	妊婦健診の公費助成は子育ての観点から、産前14回を実施しています。産後健診については、今後の課題と考えています。
30	日進市	平成21年度から産前14回とし、平成22年度は、子宮がん検診の追加や検査項目の調整を行い、平成21年度は、HTLV-1、クラミジアを追加し、該当項目については無料となるよう実施しています。回数の継続的な確保に努力しています。産後健診については、現在のところ実施する予定はありません。
31	田原市	妊産婦健診費用は、産前14回は既に無料で受けられます。産後1回については、近隣市の動向にあわせて実施を検討してまいります。
32	愛西市	平成22年度から妊婦健診は14回、厚生労働省が示す標準的な検査項目であれば、無料で受けられるよう助成しています。 なお、産後1回の健診無料化については、現状では予定をしていません。

市町村名		妊産婦健診は、産前14回に加え、初回及び産後1回を無料で受けられる恒久的な制度にしてください。
33	清須市	妊婦健診は初回から14回まで助成しております。 乳児の検診も1回助成しています。 産婦健診の助成については考えておりません。
34	北名古屋市	現在、妊婦健診を14回実施しております。産後健診についての無料化については、財政事情も厳しいことから実施は困難な状況です。
35	弥富市	愛知県医師会と契約を結び、他市町村と統一した料金で産前14回分の受診券を発行し利用していただいております。産後健診の受診助成は、考えていません。
36	みよし市	※文書回答なし
37	あま市	妊婦健診については継続して実施できるよう努めます。
38	長久手市	平成21年度より妊婦健診14回実施していますが、初回及び産後の健診は実施していません。
39	東郷町	妊産婦健診は産前14回の健診を予算の範囲で実施します。産後健診は考えていません。
40	豊山町	妊婦健診は産前14回実施しております。産後健診は実施しておりません。妊婦健診の国庫補助がない状況では、今後の検討課題となります。
41	大口町	現在、妊婦健診の補助については、産前14回は県が定めた内容で実施しており、人によっては自己負担が発生する場合があります。また、平成26年4月から産後健診1回を無料で助成しています。今後は、今のところ産前14回、産後1回を無料で助成していきます。
42	扶桑町	平成21年4月より産前14回について、原則無料で受けられるようにしております。
43	大治町	産後健診については、県内では半数程度の自治体でしか実施しておらず、今のところ実施予定はありません。
44	蟹江町	厚生労働省の通知に基づき現行どおりとします。
45	飛島村	受診券を交付しており、一般診察、血圧、尿検査(糖・蛋白)の基本健診が公費負担となっている。また週数に合わせて必要な検査も公費負担となっている。
46	阿久比町	現在、妊婦健診14回、産婦健診1回、乳児健診2回を無料実施しています。
47	東浦町	現在すでに実施しており、今後も子育て支援のために継続実施できるよう努めてまいります。
48	南知多町	平成21年度より、妊婦健康診査を14回、産婦健康診査を1回無料で実施している。
49	美浜町	契約している内容については、無料で受診できるように助成しています。
50	武豊町	県内の医療機関で、無料で受診できる妊婦健康診査受診票を14枚、産婦健康診査受診票を1枚交付すると共に、県外での里帰り出産をされる妊産婦へ、償還払い制度をしています。今後もしできる限る継続実施したいと考えています。
51	幸田町	平成21年度から産前14回の公費負担を行っています。産後健診については、近隣市の状況を見ながら検討していきたいと考えます。
52	設楽町	産前14回を無料で受けられるようにしています。
53	東栄町	※回答なし
54	豊根村	妊産婦の健診は、産前14回、産後1回、母乳相談も1回無料で実施しています。